



Profile



氏名：平出将孝(Hiraide Masataka)
 出身：福島県
 職種：手芸
 期間：2017年10月～2019年9月
 赴任地：東ティモール首都ディリ
 活動：配属先は文化庁の主に工芸品を取り扱う部署で生産者グループの支援を行っています。

Timor-Leste

公用語：テトゥン語ポルトガル語
 人口：118万人(岩手県ぐらい)
 面積：約15,000km(岩手県ぐらい)
 宗教：大半がカトリック
 通貨：アメリカドル

歴史：ポルトガルの植民地後、インドネシアが制圧。1999年の住民投票でインドネシアからの分離・独立を選択し、2002年に独立国家となりアジアで一番若い国と呼ばれている。



1 近況報告

今月は最東端の島、ジャコ島に車で片道8時間かけて行ってきました。おそらく任期中、最後の訪問です。きれいな空気に透き通った海に大自然に癒され、ここに住んでる人が羨ましく思いました。



ジャコ島に行った合気道メンバーで

2 配属先の活動

今月はクラフト市という、ハンドクラフトの集まりに呼んでもらい、自分の作成しているものの評価を聞く機会に恵まれました。また、市内にあるダンスグループを訪問し、迫力あるダンスを拝見しました。

(1) クラフト市に出品

赴任している外国人が主催するクラフト市で手作品を販売できるという話をいただき、竹で作った小物とお土産品としての木の人形(BeBeArogante)を持って販売してきました。お客さんのアドバイスをいただき、今後はこの販売も含め継続させていくことが必要だと感じました。



販売会の様子

(2) ダンスグループを訪問

ティモールの文化の一つに各地域に伝わるダンスがあります。以前作成した工芸品マップのようにダンスチームのマップを作成したいと思い、今、首都ディリ内のダンスチームを調査しています。ここでのダンスチームは伝統的なダンス、例えばコーヒーやお米の収穫を祝うダンス、戦いに勝利したときのダンスが踊られています。

ダンスは迫力があり、見ていてとても楽しめますし、グループによっては、衣装となる伝統的なタイスを羽織ることもできるので練習風景を見学するのもオススメです。



練習の風景

3 ジャコ島とイリケレケレへ



いばらの道



崖もある



途中から裸足

未開拓の自然が残る最東のジャコ島へ行ってきました。ジャコ島の近くにはイリケレケレと呼ばれる岩肌に約3,500年前の造形文字のようなものを描いた文字や絵が残っており、ここもジャコ島と同じく、神聖な場所となっています。イリケレケレには現地の知人がガイドしてくれたのですが、途中から「神聖な場所だから靴と背負っていたリュックを置いていけ」といわれ、整備されていない道を裸足で歩いたのが印象に残りました。きっとガイドと一緒になければイリケレケレまでたどり着かなかっただろうし、無事に帰ってこれなかったかもしれません。イリケレケレから見えるジャコ島はとても綺麗でした。



岩肌に絵が

4 ジュリアオが再度福島へ

再度、JICA二本松訓練所でテトゥン語を教えることになったジュリアオが日本に旅立ちました。ティモール人が日本語を学ぶための本もジュリアオが作成し、本屋さんでの販売も開始しました。「ティモール人が日本でも働けるかも」という話が広まっており、以前に顔を出していた日本語の教室も約100人程度から約150人以上に生徒が増えていました。ジュリアオが作成した本にも興味を持ってくれる人が多く、ティモール人の強い関心が伺えます。《第19号終わり》